事例No.	975
公表年度	H30
団体の属性	都道府県
団体名	和歌山県

事例区分	DX

タグ	・RPA ・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	自治体行政へのＲＰＡの活用研究

事例内容・タイトル

ＲＰＡの活用

出典

地方公共団体における行政改革の取組（平成31年3月29日公表）

★自治体行政へのRPAの活用研究（定型事務の省力化）

○　平成30年1月から6月までの間、ベンダと共同で、複数の定型事務にRPA（Robotic Process Automation)を適用し、その有用性を研究。（別途、同ベンダと共同研究した大阪府とも情報共有）
⇒　RPA化した事務において、従前の手作業と比較し、50%～100%の時間を削減できることを確認。

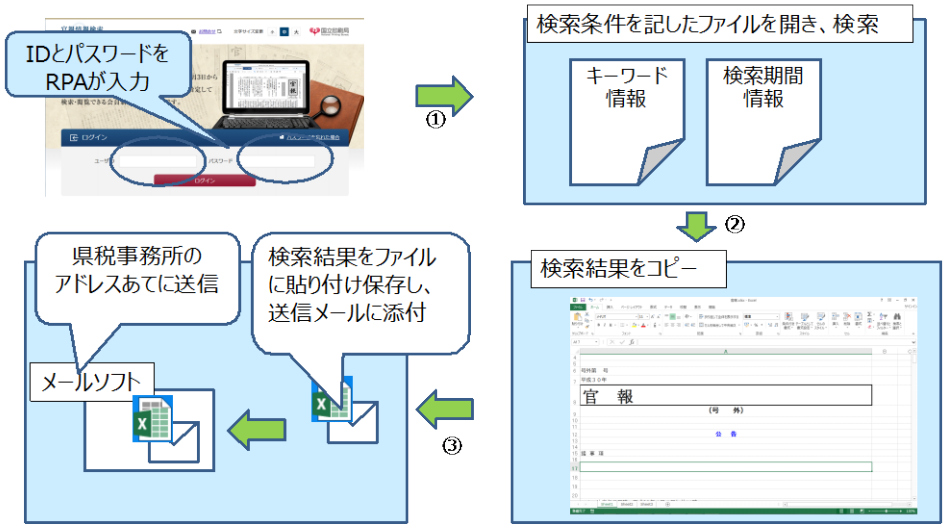
〈RPAの活用　：和歌山県（人口　約98万人）〉

【課題】
・人的資源が限られた状況において、増大する課題に効率的かつ効果的に取組むため、庁内の既存事務における **「作業時間」を抜本的に削減する必要がある。**
⇒ 新たなICTを活用した「働き方改革」への取組として、RPAに着目

【取組】
・県の市町村課、税務課及び調査統計課の複数の事務にRPAを適用し、その有用性を検証
（RPAを使って一部を自動化した県の事務）
市町村課（総務省依頼に基づく市町村照会集計に伴う作業等）
税務課（WEB上で官報情報を検索し取得する作業、
滞納整理進行管理表に必要な情報を入力更新する作業）
調査統計課（毎月勤労統計調査に関する調査結果速報作成作業、
消費者物価指数の調査結果速報作成作業）

■ 税務課（官報情報検索サービスから取得した情報を県税事務所へ通知）

毎月Web上の検索サービスから取得した官報情報を指定フォーマットに入力し、県税事務所へ、**最新情報をメールで送信する作業を自動化**



【成果】
◇ 削減が見込まれることを確認できた時間数
市町村課・・・・・　30時間/年(約85%削減)
税務課・・・・・・・　198時間/年(　100%削減)
調査統計課・・・　42時間/年(約58%削減)
◇ 作業ミス削減による業務品質の向上
◇ 更に、対象件数が万単位となるWeb検索作業など、人手では困難な作業も可能